

地学オリンピック支援委員会 第5回議事録

2012年9月15日
副委員長 川村 教一

期 日：2012年9月15日（土）17：30 - 18：20
場 所：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス B3棟3階ミーティングルーム
出席者：川村 久田 芝川 渡来
欠席者：田中 浅野 香東 川勝 小泉 平田
出席者4名、委任状2名で委員会は成立

議題

- 1) 2016年国際地学オリンピック日本大会の現状
- 2) 地球にわくわく自由研究コンテストの審査協力
- 3) 日本地学オリンピック予選ならびに本選の試験問題評価体制構築
- 4) その他

詳細

1) 2016年国際地学オリンピック日本大会の現状

久田委員から2016年の国際地学オリンピックが三重県で開催する方向で調整が進んでいるとの報告がなされた。当委員会としては、NPO 法人地学オリンピック日本委員会ならびに開催地（三重県）からの要請に対して、今後とも積極的に支援していくことを確認した。

なお、早ければ今年中にも組織委員会が発足予定とのことで、できるだけ早い段階で一人でも多くの地質学会会員に地学オリンピックの活動を知ってもらい、協力してもらえるように働きかけることが重要だとの認識に至った。

2) 地球にわくわく自由研究コンテストの審査協力

NPO 法人地学オリンピック日本委員会が主催するこのコンテストは、今回が初めの実施。小・中学生を対象とし、地学系の自由研究作品を募るもので、応募の締め切りは10月31日。

第一次審査は年内に終了予定で、応募総数に応じて当委員会委員の方々にも審査を依頼したいとの報告ならびに協力要請が久田委員よりなされた。

3) 日本地学オリンピック予選ならびに本選の試験問題評価体制構築

日本地学オリンピック予選の出題範囲が地学基礎程度となるのを機に、地質分野に関する作問依頼は地質学会経由で行うこととなった。

今後は、より良い問題作成の指針を示せるように、当委員会では試験問題の分析や評価を率先して行うことを確認した。また、それらや地学オリンピックの活動に関する報告は地質学会の学術大会などで積極的に発表していくこととした。

4) その他

- 芝川委員から、日本地学オリンピックは国際大会の派遣者を選抜する試験という印象が強い(そのような印象を抱いている人も少なくない) ため、日本地学オリンピック予選だけの受験でも問題ないことをもっとアピールする必要があるという意見が出された。
これに関しては、HPなどでQ&Aなどの質問コーナーを設けてはどうかなどの具体的な案とともにNPO 法人地学オリンピック日本委員会に要望を提出することとした。
- NPO 法人地学オリンピック日本委員会から協力要請のあった国際地学オリンピックアルゼンチン大会での地質図ポスターに関して、当委員会ではメーリングリストで議論し、執行理事会に意見を求めた。その結果、1:3,000,000 の Geological map of East Asia と 1:2,000,000 の日本地質図第5版の2種類を持参するのが良いとの結論に達し、その旨、NPO 法人地学オリンピック日本委員会に回答した。
- 地学オリンピックを応募対象者の高校生に知ってもらうために、高校生のセッション(小さな科学者のつどい)にて、地学オリンピック開催のお知らせや活動を紹介するポスターを展示してはどうかという提案が平田理事から寄せられた。
- 次回の委員会は2013年1月12日(土)午後6時から学会事務局にて開催することとした。